

入学年度・開講所属	2026(R8)・工学部	科目ナンバリング	441001		
科目名(英訳)	初級日本語(BASIC JAPANESE)				
担当教員	鈴木衛				
科目区分	卒業要件外科目(特別聴講生科目)	対象学年		単位数	1単位
講義形式	演習	受講人数	なし	開講時期	前期及び後期
キーワード	ひらがな、ます形、授受表現、て形				
授業の概要・達成目標	<p>目的: 日本語に慣れ親しみ、日本人とコミュニケーションをとるために必要な日本語を学ぶ。</p> <p>達成目標: 日常生活に必要な日本語を習得し、基本的な日本語会話ができるようになること。</p>				
授業内容	<p>第1週 L1 自己紹介</p> <p>第2週 L2 これ・それ・あれ</p> <p>第3週 L3 ここ・そこ・あそこ</p> <p>第4週 L4 時間・動詞</p> <p>第5週 L5 行きます・帰ります・来ます</p> <p>第6週 L6 飲みます・買います・～ませんか・～ましょう</p> <p>第7週 L7 ～で～を～ます・あげます・もらいます</p> <p>第8週 L8 形容詞</p> <p>第9週 L9 好きです・上手です・わかります・あります</p> <p>第10週 L10 います・あります</p> <p>第11週 L11 数</p> <p>第12週 L12 過去形・比較</p> <p>第13週 L13 欲しい・～たい</p> <p>第14週 L14 て形・現在進行形</p> <p>第15週 L15 てもいいです(許可)・～ています(所有)</p>				
授業形式・形態及び授業方法	<p>講義は週1回実施。</p> <p>予習で語彙を覚えてくること。</p> <p>毎回小テストあり。</p> <p>授業で学んだ事を宿題で復習する。</p>				
教材・教科書	『みんなの日本語I』スリーエーネットワーク				
参考文献	みんなの日本語I文法解説書書いて覚える文型練習帳聴解タスクなど				
成績評価方法及び評価基準	授業態度10%、宿題20%、小テスト30%、期末試験40%で評価し、全体得点の60%以上取得で合格とする。				
必要な授業外学修	授業の予習・復習を行うこと。				
履修上の注意	特別聴講生対象の科目であるため、日本人学生の履修は不可とする。				
関連科目(発展科目)	中級日本語、日本事情			実務家教員担当	—
その他	学習・教育目標	☑			
	連絡先・オフィスアワー	国際交流センター 鈴木:suzuki-m@mail.kitami-it.ac.jp			
	コメント				

入学年度・開講所属	2026(R8)・工学部	科目ナンバリング	441002
科目名(英訳)	中級日本語(INTERMEDIATE JAPANESE)		
担当教員	久保比呂美		
科目区分	卒業要件外科目(特別聴講生科目)	対象学年	単位数 1単位
講義形式	演習	受講人数	なし 開講時期 前期及び後期
キーワード	日本語文法 Japanese Grammar, 日本語会話 Japanese Conversation, 日本文化 Japanese Culture		
授業の概要・達成目標	<p>概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の基礎的な知識を踏まえ、より多様な場面において日本人と円滑にコミュニケーションを取るための日本語能力を養う。 ・語彙・文法・表現の幅を広げ、実践的な日本語運用力を身につける。 <p>達成目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活および身近な社会的場面において、適切な日本語表現を用いて意思疎通ができる。 ・自分の考えや意見、経験について、詳しく説明・表現できるようになる。 ・相手の発言の要点を理解し、簡単なやり取りや議論に参加できるようになる。 		
授業内容	第1回 オリエンテーション／中級日本語への導入 第2回 理由・原因の表現 第3回 逆接・対比の表現 第4回 感情・評価を表す語彙 第5回 推量・判断の表現 第6回 社会・生活に関する語彙 第7回 中間テスト／前半まとめ・実践練習 第8回 日本の生活・文化 第9回 日本の働き方・学び方 第10回 ディスカッションを通して発話力を高める 第11回 文章を読解し、自分の意見を意見文としてまとめる 第12回 発表準備(1)発表の構成を考え、分かりやすい日本語で原稿を作成する 第13回 発表準備(2)発表内容、使用語句、発音を確認し、表現力を高める 第14回 発表と質疑応答に対応する 第15回 総まとめ／振り返り		
授業形式・形態及び授業方法	・予習で語彙を覚えてくる ・授業で学んだ事を宿題で復習する ・毎回の小テスト、確認テスト、プロジェクト(課題)あり		
教材・教科書	授業で資料を配布		
参考文献			
成績評価方法及び評価基準	授業参加 25%、宿題・小テスト 25%、確認テスト 40%、プロジェクト(課題)10% 全体得点の60%以上取得で合格とする		
必要な授業外学修	授業の予習・復習を行うこと。		
履修上の注意	特別聴講生対象の科目です。		
関連科目(発展科目)	初級日本語、日本事情	実務家教員担当	—
その他	学習・教育目標 <input checked="" type="checkbox"/> 連絡先・オフィスアワー 国際交流センター 久保 0157-26-9372 kubo-h@mail.kitami-it.ac.jp コメント		

入学年度・開講所属	2026(R8)・工学部	科目ナンバリング	441003
科目名(英訳)	日本事情(TOPICS ON JAPAN)		
担当教員	久保比呂美		
科目区分	卒業要件外科目(特別聴講生科目)	対象学年	単位数 1単位
講義形式	演習	受講人数	なし 開講時期 前期及び後期
キーワード	日本文化 Japanese Culture、異文化理解 Cross-Cultural Experiences、日本語 Japanese		
授業の概要・達成目標	本授業科目は、短期留学生在が日本での勉学と生活に役立てられる日本語知識や地域に関する知識を習得することです。授業では、日本語の基礎を学びつつ、日本文化や習慣についても深く理解することを目指します。また、オホーツク地域に焦点を当て、地域の歴史や文化などの特徴についても学びます。これらを通して短期留学生は学生生活に必要な実践的知識を得るとともに、日本人とのコミュニケーションを円滑に行うためのスキルを身につけます。日本の伝統文化と地域への理解を深めることで異文化理解を促進し、グローバルな視野を広げることを目指します。		
授業内容	第1週: 授業ガイダンス、自己紹介、日本語と礼儀を学ぶ 第2週: 北見市の観光名所について 第3週: 自国紹介のプレゼン準備 第4週: 日本の祝日について 第5週: 自国紹介のプレゼンテーション、ディスカッション 第6週: 北見の歴史 第7週: 北見の祭りについて 第8週: 日本の伝統文化 第9週: 伝統文化を体験する(武道) 第10週: 伝統文化を体験する(書道、茶道) 第11週: 伝統文化を体験する(日本舞踊、よさこい) 第12週: 北見市の防災(夏~秋) 第13週: 御礼文の書き方を学び作成する 第14週: 北見での生活を発表する 第15週: テスト、まとめ		
授業形式・形態及び授業方法	配布資料をもとに講義形式で行う。講義内容の理解を深めるために、ディスカッション、課外活動(体験)等も行う。		
教材・教科書	プリント等を配布		
参考文献			
成績評価方法及び評価基準	本授業の成績評価は、授業参加・態度、課題・提出物、プレゼンテーションを総合的に評価して行う。授業参加(35%)では、出席状況およびディスカッションや体験活動への参加姿勢を評価する。課題・提出物(25%)では、授業内容の理解度、日本語表現の適切さ、提出期限の遵守を評価対象とする。自国紹介および留学生生活のまとめに関するプレゼンテーション(各20%)では、内容構成、発表態度、日本事情への理解を踏まえた表現力を評価する。以上を合算し、総合評価60点以上を合格とする。		
必要な授業外学修	予習、復習、レポート作成、プレゼンテーション課題準備ほか		
履修上の注意	外国人留学生対象科目のため、日本人学生の履修登録は不可		
関連科目(発展科目)		実務家教員担当	—
その他	学習・教育目標	<input checked="" type="checkbox"/>	
	連絡先・オフィスアワー	国際交流センター 久保:kubo_h@mail.kitami-it.ac.jp	
	コメント		